

公 印 省 略
3 保 予 11974 号
令和 4 年 2 月 9 日



一般社団法人 小郡三井医師会
会長 島田 昇二郎 様

久留米市保健所長 吉田 まり子
(保健予防課)

新型コロナウイルス感染症に係る第 6 波の現状について（報告）

平素から新型コロナウイルス感染症対策に御理解と御協力をいただき、厚く
お礼申し上げます。

さて、福岡県の新規陽性者数は増加傾向が続いており、久留米市においても
連日最多陽性者数を更新し続けております。それに伴い、福岡県、久留米市にお
いても入院患者数が急増している状況です。

患者の急増に伴い、病床使用率も急上しており、今後、さらに上昇、かつ継続
することが懸念されます。

今回、この危機的な状況を、医療機関の皆様と共有すべく情報提供をした次第
です。今後、更に状況が悪化することが予測されます。かかりつけ医をはじめ、
診療・検査医療機関、入院対応医療機関等の御協力を得ながら、対応させて頂き
たいと考えておりますので、何卒宜しくお願い致します。

記

1. 医師会より各医療機関へ周知して頂くもの

以下の（１）について、周知をお願い致します。

（１）新型コロナウイルスの感染状況について

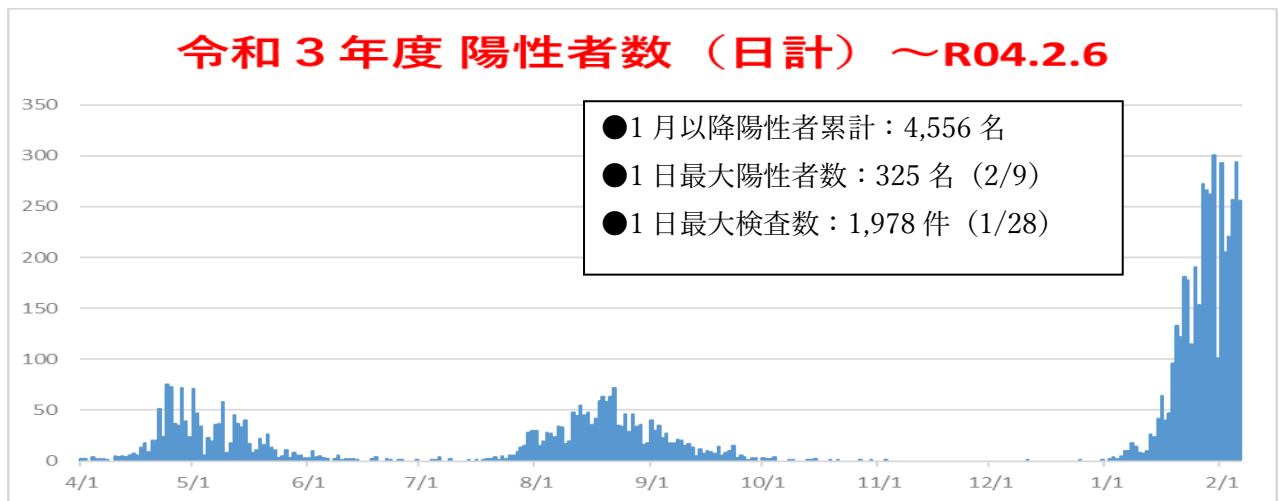
久留米市保健所 保健予防課 感染症チーム
TEL : 0942-50-2236
FAX : 0942-50-2234
メール : ho-yobou@city.kurume.fukuoka.jp

令和 4 年 2 月 9 日
保健所 保健予防課

久留米市内における新型コロナウイルスの感染状況について

1. 陽性者数の状況

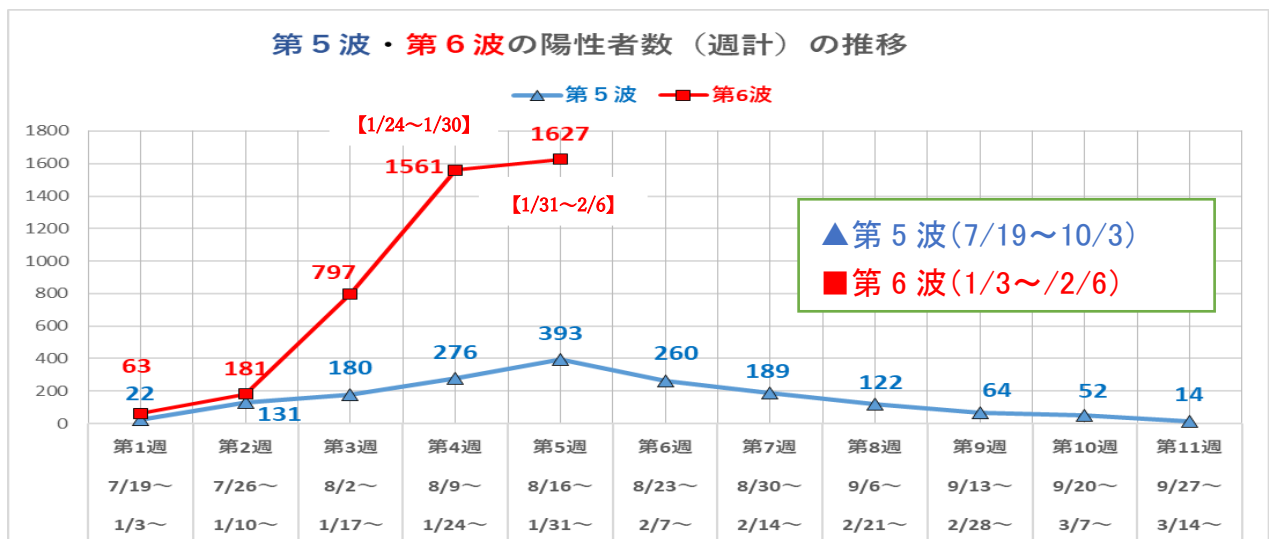
○感染力が極めて強いオミクロン株の影響により、連日 200～300 名の陽性者数を記録するなど、感染爆発状態が続いている。



2. 感染分析

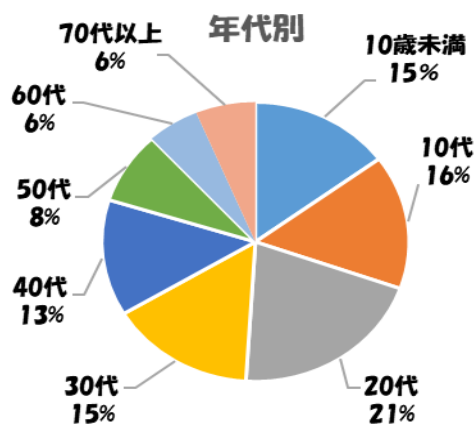
（1）第 5 波と第 6 波の感染者数の推移

○オミクロン株の特性により、第 6 波は感染スピードが相当速い。なお、感染者数は高止まりの状況となっている。



(2) 年代別の状況

【1月1日～2月6日 久留米市民：3,898名】

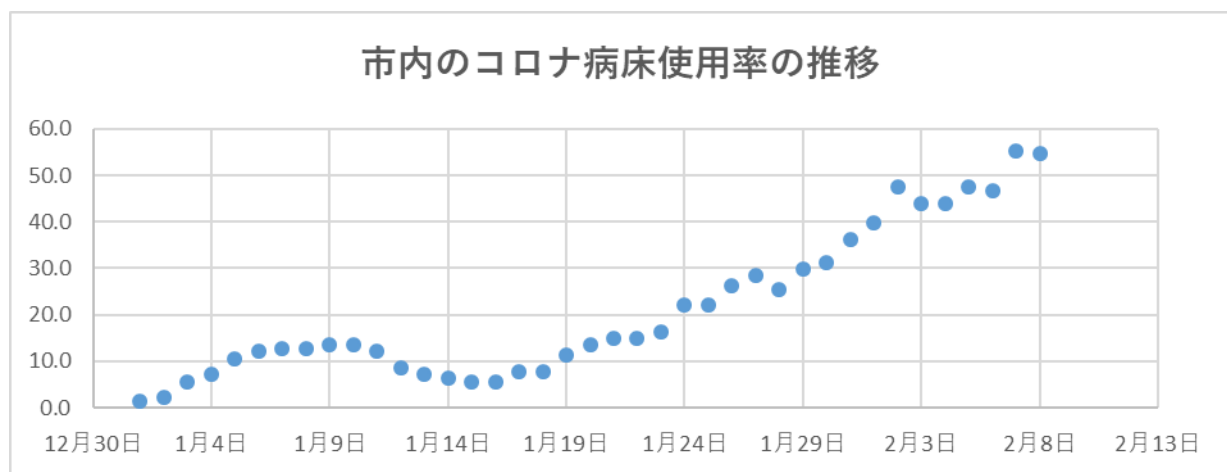


○20代が最も多いが、10代以下も3割を占めるなど、若年層の感染割合が高い。
○60代や70代以上の高齢層は、低い割合となっているが、徐々に増え始めている。

3. 陽性者の療養等の状況

(1) 市内のコロナ病床の状況

- 1月下旬から高齢の陽性者が増加しており、介護度の高い入院患者が急増し、コロナ病床使用率が高まっている。
- 市内のコロナ病床使用率が50%を超えている中、介護度の高い入院患者のケア等に伴い、入院病床に係る看護師等のマンパワーが逼迫している。
- 高齢者の入院は長引く傾向にあり、今後、更に病床使用率が上昇する懸念がある。
- 入院受入れの逼迫状況から、即時の入院調整が困難であり、一般の医療機関や高齢者施設等へ陽性者を留め置くケースが複数発生している。



(2) 宿泊療養の状況

- 福岡県が管轄している宿泊療養施設は、県内11箇所のうち、市内2箇所で稼働しており、現在90名程度が療養している。

(3) 自宅療養者の状況

○感染力の極めて強いオミクロン株の影響により、家庭内感染が広がっており、自宅療養者数は、2,000 名を超えている。

○自宅療養者の方に対しては、日々の健康観察や配食等の支援を行っているが、そこに係る業務負荷が増大している。

